

プログラムB 専門外来研修

研修内容「高度専門歯科医療技術習得コース」	研修方略	研修評価
(1) 総合診療科 (2) 保存治療科 (3) 歯周病科 (4) 義歯科 (5) 口腔インプラント科 (6) 口腔顎顔面外科 (7) 口腔内科・口腔外科 (8) 歯科麻酔科・ペインクリニック・あんしん科 (9) 歯科放射線科 (10) 小児歯科 (11) 口腔環境科 (12) 地域包括歯科医療センター（DEM CAB）	見学研修 相互研修 患者研修 （高頻度治療）	研修手帳 （レポート 毎日の振り返り 等）
<p>(1) 総合診療科</p> <p>一般目標：全人的な歯科医療を行うために、医療コミュニケーション能力を習得するとともにプライマリーケアの範囲の診査、診断、治療技術を習熟する。</p> <p>行動目標：①患者との良好なコミュニケーションを確立する。 ②スタッフとの良好なコミュニケーションを確立する。 ③医療面接において必要な情報を収集する。（POS） ④病態に合わせて適切な検査を実施する。（POS） ⑤一口腔単位で治療計画を立案する。（POS） ⑥初診時に必要な応急処置を実施する。 ⑦基本的な高頻度治療を実施・習熟する。 ⑧実施した治療の評価をする。 ⑨治療の経過について症例報告（プレゼンテーション）をする。 ⑩POMRに沿った適切な診療録の記載や、各種医療管理文書の発行をする。</p> <p>方 略：講義、演習、医療面接スキルアップトレーニング、シミュレーション研修、患者研修、合宿研修、症例発表会、</p>		
<p>(2) 保存治療科</p> <p>一般目標：現代の歯科医師に要求されている、顕微鏡等を用いた高精度な歯の治療を実施するための基本スキルを習得する。</p> <p>行動目標：①医療コミュニケーションを実施し、歯を保存する意義を患者に説明する。 ②口腔内診査を実施する。 ③基本的保存修復を実施する。 ④基本的歯内治療を実施する。 ⑤基本的支台築造を実施する。 ⑥支台築造の概形成を実施する。 ⑦基本的プロビジョナルレストレーションを実施する。 ⑧マイクロスコプ等を用いた高精度な歯の治療について説明する。</p> <p>方 略：講義、基礎実習、スキルアップ試験、患者研修、ケース・プレゼンテーション（症例報告）</p>		

(3) 歯周病科

一般目標：歯周病の診査・診断および歯周基本治療を習得する。

行動目標：①歯周病の診査・診断を実施する。
②保存・補綴治療を含む総合的な治療計画を立案する。
③急性・慢性の疾患モデルを学ぶ。
④歯周病患者に対して歯周基本治療を実施する。
⑤再評価の結果から歯周基本治療の効果と限界を学ぶ。
⑥臨床検討会にて症例提示を行う。

方 略：講義、実習、患者研修

(4) 義歯科

一般目標：一口腔単位での包括診療を可能にするために、より高度で専門性の高い補綴治療を立案し、基本的な補綴治療を実施するための態度、知識、および技能を習得する。

行動目標：①医療人としてふさわしい態度を身につけ、チーム医療をする。
②歯冠の崩壊および歯の欠損による機能障害に対して、適切な診査・診断・総合診療計画に基づいた補綴的機能回復を行う。
③顎関節症および睡眠時無呼吸症候群に対して適切な診査・診断に基づいた治療を行う。
④高度な補綴治療（アタッチメント義歯、顎義歯、インプラントオーバーデンチャー）を行う。
⑤補綴臨床に必要な器具や装置（咬合器、顎運動計測器など）を適切に使用する。
⑥歯科臨床に必要な技工を行う。

方 略：講義、患者研修、抄読会、技工スキル・診療スキル研修、症例検討会

(5) 口腔インプラント科

一般目標：口腔インプラントを用いた治療に関する基本的知識を習得する。

行動目標：①インプラントの種類とそれぞれの特徴を述べる。
②インプラント治療の大まかな流れを述べる。
③術前診断に必要な臨床検査について理解し説明する。
④インプラント手術を見学し、手術記録をとる。
⑤インプラントの異常所見について述べる。
⑥インプラント治療の術後ケアとメンテナンスについて説明する。

方 略：講義、患者研修、カンファレンス

(6) 口腔顎顔面外科

一般目標：口腔外科小手術を行うために必要な基本知識と技術を習得する。

行動目標：①小手術の基本を理解する。
②比較的簡単な智歯を抜去する。
③全身管理に必要な検査と診断，処置の基本を理解する。
④術前術後投薬の基本を理解する。

方 略：講義、実習、患者研修（外来、手術室、病棟）

(7) 口腔内科・口腔外科

一般目標：口腔疾患患者の口腔だけに視点を向けず、全身的背景を考慮した口腔疾患の診断と治療を行ううえで基本的な理論や手技を理解する。

行動目標：①全身疾患を考えながら口腔疾患の診断と治療が進めることができる。
②全身疾患を持った患者の口腔疾患の治療を行うに際して、全身疾患を把握し、口腔疾患の治療が全身に及ぼす影響と全身疾患が口腔疾患の治療に与える影響について説明できる。
③他科の医師をはじめとした関連する職種の人達との医療連携、チーム医療に参加できる。

方 略：講義、実習、患者研修（外来、手術室、病棟）

(8) 歯科麻酔科・ペインクリニック・あんしん科

一般目標：静脈路確保、呼吸・循環モニタリング、マスク換気、酸素投与など
歯科診療時の急変に対応できる手技および緊急薬剤の使用方法について学び、
施行できるようになる。有病者、障害者および小児の歯科治療時に安心で、
痛みがなく、有害な記憶が無い、安全な鎮静方法を習得する。
口腔顔面領域の痛みやマヒを緩和するオーラル・ペインクリニックを学ぶ。

行動目標：①医療面接を習得する。
②外来患者、入院患者の全身状態評価を行う。
③末梢静脈路を確保できる。
④有病者・障害者の歯科治療時に必要な呼吸・循環モニタリングができる。
⑤呼吸停止患者にマスク換気および気管挿管ができる。
⑥フェイスマスク、経鼻カニュラを用いて酸素を投与できる。
⑦緊急薬剤が使用できる。
⑧笑気吸入法による精神鎮静法を施行できる。
⑨口腔顔面領域痛の病因、治療方針が説明できる。

方 略：実際の手術患者、外来患者を対象として、指導医とともに臨床実習を繰り返し
身につくまで行う。

(9) 歯科放射線科

一般目標：歯科放射線科医として必要な基礎知識を習得する。

行動目標：①歯科疾患を診断するための基本的画像の撮影法を習得する。
②歯科疾患を診断するための正常画像所見を習得する。
③日常臨床で遭遇する頻度の高い歯科関連疾患の臨床的及び画像的特徴を把握する。
④X線CT、歯科用CBCT、MRI、超音波検査およびPET画像を用いた
総合画像診断法に触れる。
⑤放射線治療に関する知識を習得する。
⑥放射線防護・管理に関する知識を習得する。
⑦歯科医師としての基本的技術（歯牙切削、充填、抜随、根管充填）を実施する。

方 略：患者研修、講義、実習

(10) 小児歯科

一般目標：小児期において成長発育を考慮した歯科治療を行い、正常な永久歯列への誘導を行える知識、技術および技能を習得する。

- 行動目標：①小児の心身の発育状態に適した対応法をする。
②主訴を的確に捉え、患者や保護者に適切に対応する。
③適切な検査方法を用い、的確な診査、診断をする。
④1口腔単位を基本とした齲蝕治療を選択し、実施する。
⑤歯周疾患の診査、診断ができ、適切な処置をする。
⑥外傷歯に対する適切な処置をする。
⑦保隙処置の診断ができ、適切な保隙装置の作製および処置をする。
⑧乳歯抜歯の適応症が説明でき、実施する。
⑨軟組織疾患について診査、診断および適切な処置をする。
⑩患者の年齢、口腔状況に応じた予防処置をする。

方 略：講義、患者研修、症例検討会

(11) 口腔環境科

一般目標：高齢者歯科における臨床実習を通じて、高齢者歯科学および摂食嚥下リハビリテーションに関する確実な診断能力と適切な治療法を習得する。

- 行動目標：①コミュニケーションスキルを実践する。
②十分な医療情報を収集する。
③基本的な診察・検査をする。
④基本的な診察・検査の所見を判断する。
⑤得られた情報から鑑別診断をする。
⑥要介護高齢者の歯科治療をする。
⑦基本的な口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションをする。
⑧漢方薬を用いた歯科口腔疾患の治療をする。
⑨患者に対して全身状態と口腔症状を理解した説明をする。
⑩歯科訪問診療をする。

方 略：講義、見学、患者研修

(12) 地域包括歯科医療センター（DEM CAB）

一般目標：地域に在住する要介護高齢者に対する臨床実習を通じて、障害者歯科学および摂食嚥下リハビリテーションなどに関する確実な診断能力と適切な治療法を習得する。

- 行動目標：①コミュニケーションスキルを実践する。
②十分な医療情報を収集する。
③基本的な診察・検査を実施し、所見から鑑別診断する。
④患者と家族に対して、治療方針を説明する。
⑤全身的なリスクマネジメントをする。
⑥口腔健康管理を実践する。
⑦摂食嚥下リハビリテーションを実践する。
⑧周術期口腔機能管理を実践する。
⑨歯科訪問診療を実施する。
⑩地域包括ケアシステムを理解する。

方略：講義、見学、患者研修